

背景

DX(デジタルトランスフォーメーション)化によるビジネス環境が変化に応じ、ワークスタイルの多様化が加速しています。時間や場所に縛られず、タイムリーに情報へアクセスすることが求められるなか、クラウドサービスの導入に対しセキュリティ面で不安を抱えていたり、データへのアクセス速度が遅くなる・DX化へあまり多くは投資できないなど、クラウド移行について課題を抱えているお客様が少なくない現状です。

「RICOH e-Sharing Service」の主な特徴

- 1. モバイルパソコンやスマートフォンなどで手軽にアプライアンス BOX へリモートアクセス**
お客様社内に設置した「APX2-ESS/RO5A」を、同一ネットワーク上にあるファイルサーバーと連携させ、モバイルパソコンやスマートフォンなどで RICOH e-Sharing Service 専用アプリを使い「APX2-ESS/RO5A」内に保存されているファイルを社外(外出先)から手軽に閲覧できます。
- 2. アプライアンス BOX でデータを保存・管理、クラウド上にデータを保持しない安心設計**
「RICOH e-Sharing Service」はクラウド上にデータを保持せず、RICOH クラウドサービスを経由して「APX2-ESS/RO5A」に保存されたファイルへアクセス・閲覧します。保存データはオンプレミスで「APX2-ESS/RO5A」内で管理するため、クラウド移行に不安を抱えているお客様にも安心してご利用いただけます。
- 3. 複合機との連携により外出先からもファクス文書を送受信可能**
リコー複合機との連携により、社外(外出先)からファクスの送受信ができます。さらに、受信したファクスをテキスト情報付 PDF で保存することができ、ファクス受信文書の一元管理も可能です。

アイ・オー・データ機器アプライアンス BOX「APX2-ESS/RO5A」の主な特徴

Windows® 10 IoT Enterprise LTSC 2021 を搭載、標準で 5 年保証やデータ復旧サービスに対応したアプライアンス BOX です。本製品は、5 年間のオンサイト保守サービスがあらかじめ含まれています。商品の不具合発生時には、リコージャパンのサービスエンジニアがお客様先に訪問し、現地にて不具合確認の上、代替品との交換作業を行います。

今後の展開

2023 年 3 月にはリコーの共創プラットフォームである「RICOH Smart Integration」のタイムスタンプ機能と連携を予定しており、電子帳簿保存法への対応強化を進めてまいります。今後も順次リコーのソリューション製品と連携を検討し、お客様の業務改善・DX を後押ししてまいります。

■関連情報

「RICOH e-Sharing Service」商品ページ

URL:<https://www.ricoh.co.jp/service/e-sharing-service>

アイ・オー・データ機器「APX2-ESS/RO5A」商品ページ

URL:<https://www.iodata.jp/product/nas/appliance/apx2-essro5/>

※Adobe PDFは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

※Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、お客様のデジタル変革を支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約200の国と地域で提供しています(2022年3月期グループ連結売上高1兆7,585億円)。

imagine. change. 創業以来85年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、[ワークプレイスの変革](#)を通じて、人々の生活の質の向上、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>